



分野3

健康・福祉

分野目標：みんながいきいきと、健やかに安心して暮らせるまちを実現します

政策体系

3－1 健やかに暮らせる社会を創る

- 3-1-1 健康づくりの促進
- 3-1-2 医療提供体制の充実
- 3-1-3 安全・安心な生活衛生環境の整備

3－2 高齢者がいきいきと活躍できる社会を創る

- 3-2-1 生きがいつくりと社会参加の促進
- 3-2-2 地域で安心して暮らせる環境の整備
- 3-2-3 認知症とともに生きる社会の構築
- 3-2-4 介護保険サービス提供体制の整備

3－3 障害のある人もない人も、自分らしく生活できる共生社会を創る

- 3-3-1 障害のある方への理解促進と社会参加の促進
- 3-3-2 地域で自立して暮らせる環境の整備
- 3-3-3 障害のある子どもとその家族への支援の充実
- 3-3-4 心の健康づくりへの相談・支援体制の充実

3－4 住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会をつくる

- 3-4-1 とともに支え合い、活力ある地域づくりの推進
- 3-4-2 包括的な支援体制の構築

3-1

健やかに暮らせる社会を創る

【関連する SDGs の目標】



新病院完成パース図

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
健康寿命 ^{P195} の延伸	年	健康寿命 男性 80.04※・女性 84.78※ 平均寿命 男性 81.45※・女性 88.10※	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加

※ 令和 2 年（2020 年）調査数値

3-1-1

健康づくりの促進

施策の展開

- 千葉市では、市民の健康の保持・増進を総合的・効果的に推進するため、平成 25 年度（2013 年度）に健やか未来都市ちばプランを策定し、市民や行政、関係機関・団体等が一体となって健康づくりに取り組んでおりますが、令和 2 年（2020 年）の本市の平均寿命は、男性が 81.45 歳、女性が 88.10 歳と「人生 100 年時代」を迎える中、健康寿命の延伸が一層重要になっています。
- そこで、ウオーキングや食育^{P198}の推進などにより、幅広い世代の健康づくりを推進します。
- また、生涯を通じていきいきと活躍するため、フレイル^{P205}の恐れがある高齢者を対象に、介護予防教育等を行い、フレイルの高齢者に対してはリハビリによる機能回復等を支援します。
- さらに、がん検診・特定健康診査^{P202}の受診率向上に向けた取組みにより、市民が自身の健康状態を把握し、健康増進に向けた行動変容を促すとともに、がんや生活習慣病などの病気を早期に発見し、治療につなげることで、病気を患っても治療と社会参加の両立が図れるよう、ニーズを捉えた支援を行います。
- 加えて、受動喫煙対策を推進するとともに、禁煙治療費用を助成します。

計画事業

次期健康増進計画の策定		健康推進課	
市民の健康づくりを総合的かつ計画的に推進するため、健康増進計画（健やか未来都市ちばプラン）の次期計画を策定します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
次期健康増進計画の策定	－	策定	策定

次期食育推進計画の策定		健康推進課	
市民が食の大切さを考え、行動することで健全な食生活を実現するため、次期食育推進計画を策定します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
次期食育推進計画の策定	－	策定	策定

健康づくりの取組み支援		健康推進課	
市民の主体的かつ継続的な健康づくりを推進するため、個人の状況に応じ、健康づくりに取り組むことのできる環境を整備します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
新たな健康インセンティブ事業の検討	—	検討	検討

フレイル改善		健康推進課	
高齢者の健康寿命 ^{P195} 延伸を図るため、リハビリ専門職による機能回復及び日常生活の活動を高める支援を行います。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
個別機能訓練プログラムの実施	—	全区実施	全区実施

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施		健康推進課	
高齢者の健康寿命の延伸を図るため、各区に医療専門職を配置し、フレイル ^{P205} の恐れがある後期高齢者に対して、疾病の重症化予防と心身機能低下予防のための保健指導及び生活機能改善のための介護予防教育への参加を促す取組みを実施します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
医療専門職の拡充	２区配置	４区配置	全区配置

がん検診・特定健康診査 ^{P202} の受診率向上につながる環境づくり		健康支援課	
がん及び生活習慣病等の早期発見・重症化を予防するため、検診会場における子の見守りやウェアラブル端末を活用した特定保健指導等により、市民が受診しやすい環境をつくりまします。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
がん集団検診時の受診環境の充実（子どもの見守り）	４回/年	46回/年増	50回/年
ウェアラブル端末による特定保健指導	－	120人/年	120人/年
効果的な受診勧奨	実施	継続	実施

がん患者支援の充実		健康推進課	
がん患者の治療と社会参加の両立を図るため、当事者のニーズや課題を調査のうえ、必要な支援を行います。			
取組項目	令和４年度末現況	取組項目	令和７年度末目標
新たながん患者支援の実施	－	調査・実施	調査・実施

受動喫煙対策の推進及び禁煙の支援		健康推進課	
市民の健康増進を図るため、家庭や飲食店・職場等の多数の者が利用する施設における受動喫煙を防止する対策を推進するとともに、禁煙に挑戦する市民に対する支援を行います。			
取組項目	令和４年度末現況	取組項目	令和７年度末目標
市民に対する受動喫煙対策の周知・啓発	実施	継続	実施
施設等への巡回・指導	実施	継続	実施
禁煙の支援	実施	継続	実施

中央区若い世代からの生活習慣病予防		中央区健康課	
糖尿病等の生活習慣病を予防するため、就学時健診時などに配布する小冊子を作成し、普及啓発を行います。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
啓発小冊子の作成・配布	区内 19 か所	1 か所増	区内 20 か所
健康教育の実施	区内小学校 10 校	9 校増	区内小学校 19 校

花見川糖尿病〇プロジェクト（花見川けんこうウォーキング等の開催）		花見川区健康課	
区民の糖尿病等の生活習慣病を予防し、健康への関心を高めるため、花見川サイクリングロードを活用したウォーキングイベントを開催するとともに、健康づくりに関する普及啓発を行います。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
花見川けんこうウォーキングの開催	－	1 回/年	1 回/年
啓発標語の募集	1 回/年	継続	1 回/年
花見川糖尿病〇プロジェクトの普及・啓発	実施	継続	実施

稲毛区健康づくりウォーキング（稲毛健康ウォーキング等の開催）		稲毛区健康課	
区民の生活習慣病予防及び介護予防への意識向上を図るため、健康ウォーキングイベントを開催します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
健康づくりウォーキングの開催	1 回/年	継続	1 回/年

美浜ベジ・アクティブ宣言（若い世代からの野菜摂取等の促進）		美浜区健康課	
生活習慣病予防や健康づくりに取り組むきっかけをつくるため、小学生を対象としたクッキングレポートの募集や、野菜の摂取を軸とした健康づくりの情報提供を行います。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
小学生を対象としたクッキングレポートの募集	1 回/年	継続	1 回/年

学校における食育の推進【再掲】		保健体育課	
広く市民に本市の学校給食や食育 ^{P198} の現状を知ってもらうため、地場農産物を使った学校給食の試食会を実施します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
学校給食の試食会の実施	－	6 回/年	6 回/年

産婦健康診査費用の助成【再掲・新規】		健康支援課	
産婦の産後うつや早期発見や新生児への虐待予防等を図るため、産婦健康診査の費用を助成します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
産婦健診の費用助成	－	15,000 人	15,000 人
産科医療機関・助産院の実地調査	関係機関との協議	産婦健診実施後アンケートの実施	産婦健診実施後アンケートの実施
周産期メンタルヘルス研修	産後うつ治療対応可能医療機関との協議	実施	実施

乳幼児健康診査の拡充【再掲】		健康支援課	
弱視の早期発見と早期治療のため、3 歳児健康診査において全対象者に対し、屈折検査 ^{P195} を実施します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
視力検査及び屈折検査の実施	—	実施	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
特定健康診査 ^{P202} 実施率	%	31.6	40.0
特定保健指導実施率	%	15.6	38.0
がん検診受診率	%	54.8	60.0
低栄養（BMI18.5 以下）の後期高齢者の割合	%	8.50	8.49

施策の展開

- 千葉市ではこれまで、地域における必要な医療提供体制を確保するため、青葉病院・海浜病院それぞれにおいて特色ある医療の充実・強化を図ってきたところですが、市民の安全・安心を守るため、引き続き医療提供体制の充実に取り組んでいく必要があります。
- そこで、将来にわたって市民に安心で質の高い医療を提供し、市立病院に期待される機能や役割を果たしていくため、海浜病院に代わる新病院の整備に向けて取り組むとともに、市立病院の医療機器を更新します。
- また、市民が夜間・休日でも持続的に医療を受けられる環境を確保するため、医師の働き方改革等を踏まえつつ、持続可能な救急医療体制に向けた見直しを行います。

計画事業

新病院の整備

経営企画課

市の西部地域において胎児から高齢者まで切れ目のない総合的な医療を提供するため、現海浜病院の機能を基盤とした新病院を整備します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
新病院の整備	実施設計、用地取得	実施設計・工事	実施設計完了・工事
新病院への交通アクセス環境の確保	—	バス事業者との意見交換	バス事業者との意見交換

市立病院の医療機器の更新

青葉・海浜病院事務局

市民が必要とする安全・安心な医療を継続的に提供するため、市立病院の医療機器を更新します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
医療機器の更新（青葉病院）	実施	全身用X線CT撮影装置 MRI装置 等	全身用X線CT撮影装置 MRI装置 等
医療機器の更新（海浜病院）	実施	新生児・小児用人工呼吸器、 大動脈バルーン パンピング装置 等	新生児・小児用人工呼吸器、 大動脈バルーン パンピング装置 等

救急医療体制の見直し

医療政策課

市民が夜間・休日でも持続的に適切な医療を受けられる環境を確保するため、医師の働き方改革等を踏まえつつ、救急医療体制を見直します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
救急医療体制の見直し	—	実施	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
入院が必要な患者の積極的な受入れ （両市立病院の新規入院患者数）	人	14,891	15,800

施策の展開

- これまでの新型コロナウイルス感染症に関する経験等を踏まえ、健康危機管理体制を強化するとともに、医療機関等と連携し、新たな感染症に備えた協力体制を構築します。
- また、千葉市では、人と動物が共生できる社会づくりに取り組んでおり、ボランティアの協力も得ながら、収容動物の譲渡などを行っています。今後も、継続的に動物愛護の周知・啓発に取り組むとともに、本市の動物行政のあり方を策定のうえ、動物保護指導センターの再整備やボランティアなど多様な主体との連携・協働を推進します。
- さらに、引き続き、平和公園の拡張整備や斎場周辺の環境整備に取り組むとともに、高齢化社会の到来に伴う市民の墓地需要に対応するため、老朽化した桜木霊堂を更新するとともに、斎場のあり方を検討します。

計画事業

健康危機管理体制の強化【新規】		医療政策課	
新たな感染症から市民の生命・健康を守るため、新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえて新型インフルエンザ等対策行動計画を見直すとともに、医療機関等と感染症対応訓練を共同実施します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
千葉市新型インフルエンザ等対策行動計画の見直し	—	実施	実施
医療機関等との感染症対応訓練共同実施の再開	—	実施	実施

動物愛護の推進		生活衛生課	
人と動物が共生できる社会づくりを推進するため、動物行政のあり方を検討するとともに、あり方を踏まえた動物保護指導センターの再整備に向けた検討を進めます。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
動物行政のあり方策定	検討	策定	策定
収容動物の馴化 ^{じゅんか} P198 環境整備	—	馴化部屋整備・ 馴化トレーニングの外部委託	馴化部屋整備・ 馴化トレーニングの外部委託
動物保護センターの再整備	—	基本計画策定	基本計画策定

斎園周辺（斎場・平和公園）環境の整備		生活衛生課	
斎場及び平和公園周辺の良好な環境づくりのため、道路、親水広場及び公園緑地の整備を進めます。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
道路整備	３路線供用開始	道路整備　３路線	１路線供用開始
親水広場の整備	用地取得、設計等	実施設計・工事	工事
緑地の整備	用地境界立会測量	継続	用地境界立会測量

平和公園の拡張・整備		生活衛生課	
墓地を安定的に供給するため、平和公園を拡張・整備します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
墓園の整備	工事	工事・一部供給開始	工事・一部供給開始

桜木霊堂の更新【新規】		生活衛生課	
利用者の墓参環境を整備するため、老朽化した桜木霊堂を建替えます。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
納骨堂（桜木霊堂）の建替	－	実施設計・工事等	建替完了

斎場のあり方検討【新規】		生活衛生課	
高齢化のさらなる進行に対応するため、今後の斎場のあり方について調査研究を行います。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
調査・研究	－	実施	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和３年度末	目標値 令和７年度末
ペットの適正飼養のための講習会等受講者数	人	68	110

3-2

高齢者がいきいきと活躍できる社会を創る

【関連する SDGs の目標】



あんしんケアセンター

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
介護・支援を必要としない高齢者の割合 (75 歳以上 85 歳未満)	%	81.9	82.2
高齢者の有業率 (65 歳以上)	%	22.4※	25.7

※ 平成 29 年度 (2017 年度) 調査数値

3-2-1

生きがいきつくりと社会参加の促進

施策の展開

- 千葉市の高齢者人口は、令和 4 年 (2022 年) 9 月末時点で 256,789 人、高齢化率が 26.3% となっており、今後も継続して増加することが見込まれます。本市では、これまでも高齢者の生きがいきつくりや社会参加を促進するため、生涯現役応援センターなどを通じて、様々な活動の場を提供するとともに、生涯学習活動の促進に取り組んできたところです。
- 今後、少子高齢化が一層進行する中においては、シニア世代もまちづくりの主体として、長年にわたり培ってきた知識・技能・経験を活かし、生きがいきつくりや地域課題の解決に取り組める環境をつくることが重要です。
- そのため、引き続き高齢者がこれまで培った知識等を活かし、活躍できる機会の創出に取り組むなど、生涯現役応援センターの充実を図ります。

計画事業

生涯現役応援センターの充実		高齢福祉課	
高齢者の就労や地域活動など多様な社会参加ニーズに対応するため、情報提供・相談・紹介などを行うとともに、高齢者に適した就労・ボランティア等の活動先を新たに開拓します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
セミナーの開催	5 回/年	1 回/年増	6 回/年
活動先の新規開拓	－	実施	実施
出張相談	100 回/年	継続	100 回/年

【重要業績評価指標 (KPI)】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
生涯現役応援センターにおける就労・ボランティア等のマッチング件数	件	131	136

施策の展開

- 千葉市では、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるまちの実現を目指し、あんしんケアセンターの機能拡充や、地域住民や地域団体による支え合い活動の促進に取り組んできたところです。
- 今後、高齢者人口の増加が見込まれる中においても、地域で安心して暮らし続けられるよう、引き続き高齢者人口の増加や分布に応じてあんしんケアセンターの専門職員を増員するなど体制強化を図るとともに、医療介護専門職による多職種連携を推進し、地域包括ケアシステム^{P200}の構築・強化を進めます。
- また、自宅で家族をケアしている介護者を支援するため、家族介護者に対する研修や訪問レッスンを充実し、介護に関する悩みの解消に取り組みます。
- さらに、高齢者の地域との交流機会などを確保するため、エレベーターのない団地等に入居する高齢者の移動手段を確保し、外出を支援します。
- 加えて、すべての高齢者が、本人が望む人生の最終段階を迎えられるように、市民への周知・啓発及び医療・介護専門職の育成に取り組めます。

計画事業

あんしんケアセンターの機能強化		地域包括ケア推進課	
地域における高齢者やその家族への相談支援体制の充実を図るため、地域包括ケアシステムの中心的役割を担う、あんしんケアセンターの体制を強化します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
専門職員の拡充	149 人	13 人増	162 人

生活支援コーディネーターによる支援体制の強化		地域包括ケア推進課	
高齢者が住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けられるよう、住民主体の通いの場等の地域資源を把握し、住民と共に地域づくりを行う生活支援コーディネーター ^{P199} による支援体制を強化します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
生活支援コーディネーターの拡充	あんしんケアセンター 圏域配置（28 人）	出張所への配置 （4 人増）	出張所を含む全圏域 配置完了（32 人）

在宅医療・介護連携の推進		在宅医療・介護連携支援センター	
医療や介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で安心して生活できる環境をつくるため、切れ目のない医療・介護の相談支援体制を強化するとともに、人生の最終段階における医療に関する市民への普及啓発及び意思決定支援等に携わる専門職を育成します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
在宅医療・介護連携支援センターの体制強化	コーディネーター2 名 週 5 日開設 講演会等の開催支援 90 件/年	コーディネーター1 名増 週 1 日開設増 講演会等の開催支援 20 件/年増	コーディネーター3 名 週 6 日開設 講演会等の開催支援 110 件/年
ACP（意思決定支援） ^{P207} の推進	シンポジウム 2 回/年 専門職向け研修会 1 回/年 リーフレット配布等	シンポジウム 1 回/年増 専門職向け研修会 1 回/年増 リーフレット配布等	シンポジウム 3 回/年 専門職向け研修会 2 回/年 リーフレット配布等

介護者支援の強化		高齢福祉課	
家族介護者の身体的・精神的負担を軽減するため、介護に関する基礎的知識を学習する研修を開催するとともに、オンラインを活用した訪問レッスンや介護の悩みに関する相談受付を実施します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
家族介護者向け研修	7 回/年	1 回/年増	8 回/年
訪問レッスン	65 回/年	5 回/年増	70 回/年
家族介護者向け相談窓口	実施	継続	実施

高齢者の身近な移動手段の確保			高齢福祉課	
エレベーターのない団地やアパートに居住する高齢者などの外出を支援するため、訪問介護事業者などの階段昇降機の導入及び維持管理に係る費用を助成します。				
取組項目		令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
福祉有償運送事業者への助成	立上支援	１団体/年	継続	１団体/年
	運営支援	２団体/年	３団体/年増	５団体/年
訪問介護事業者等の階段昇降機導入等に対する助成		３団体	３団体増	６団体

フレイル改善【再掲】		健康推進課	
高齢者の健康寿命 ^{P195} 延伸を図るため、リハビリ専門職による機能回復及び日常生活の活動を高める支援を行います。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
個別機能訓練プログラムの実施	—	全区実施	全区実施

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施【再掲】		健康推進課	
高齢者の健康寿命の延伸を図るため、各区に医療専門職を配置し、フレイル ^{P205} の恐れがある後期高齢者に対して、疾病の重症化予防と心身機能低下予防のための保健指導及び生活機能改善のための介護予防教育への参加を促す取組みを実施します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
医療専門職の拡充	２区配置	４区配置	全区配置

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和３年度末	目標値 令和７年度末
あんしんケアセンター包括３職種 ^{P191} 配置数	人	146	162

施策の展開

- 千葉市において、認知症の人は令和2年（2020年）時点で約24,000人と、65歳以上の約11人に1人が認知症であり、団塊の世代が75歳以上となる令和7年（2025年）には、認知症の人が約30,000人となる見込みです。
- 認知症になっても、本人やその家族が希望を持って暮らし続けられるよう、認知症に対する社会の理解を深め、認知症の人も社会の一員として活躍できる地域共生社会を目指します。
- 認知症の重症化を予防するため、認知症の疑いがある方を対象に「もの忘れチェック」を実施し、早期発見・早期対応につなげるとともに、医療福祉の専門職による認知症の人及びその家族への支援体制を強化します。

計画事業

認知症の人や家族への支援

地域包括ケア推進課

認知症の人や家族に対する支援の充実を図るため、医療機関との連携により、認知症の早期発見・早期対応の体制を整備するとともに、看護師・作業療法士などで構成する認知症初期集中支援チームの機能を強化します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
もの忘れチェック事業の実施	—	2,000件/年	2,000件/年
認知症初期集中支援チームの充実	—	人員体制の強化	人員体制の強化

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
認知症サポーター ^{P203} 数	人	82,830	113,570
認知症初期集中支援チーム支援者数	人	108	151

3-2-4

介護保険サービス提供体制の整備

施策の展開

- 本市では、高齢化の進行に伴う要介護者の増加に対応するため、介護保険施設を計画的に整備するなど、介護保険サービスの充実に取り組んでいます。
- 今後も継続的に要介護者の増加が見込まれることから、引き続き、特別養護老人ホームの整備や、老朽化した高齢者施設への修繕助成を行うなど、介護需要への対応に取り組めます。
- また、住み慣れた地域で暮らし続けたいというニーズに対応するため、（看護）小規模多機能型居宅介護事業所の整備を進めます。
- さらに、安定した介護サービスを持続的に提供するため、引き続き介護人材の確保や定着支援に取り組むとともに、介護職員の負担を軽減するため、介護ロボットの普及促進を図ります。

計画事業

特別養護老人ホームの整備		介護保険事業課	
介護が必要な高齢者の増加に対応するため、特別養護老人ホームの整備に助成します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
特別養護老人ホームの整備	58 か所	6 か所増	64 か所

養護・軽費老人ホーム大規模修繕への助成		介護保険事業課	
利用者の利便性低下を防ぐため、老朽化した養護・軽費老人ホームの施設修繕に助成します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
施設修繕への助成	1 施設/年	継続	1 施設/年

（看護）小規模多機能型居宅介護事業所の整備		介護保険事業課	
介護の必要な高齢者が住み慣れた地域で安定した生活を営むことができるようにするため、（看護）小規模多機能型居宅介護事業所の整備に助成します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
（看護）小規模多機能型居宅介護事業所の整備	20 生活圏域	5 生活圏域増	25 生活圏域

介護人材の確保・定着の支援		介護保険管理課	
介護人材の不足を解消するため、学生等若い世代への周知・啓発や外国人人材の活用の検討を進めるとともに、介護職員としてのスキルアップ等につながる研修費用を助成します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
合同就職説明会等の実施	合同就職説明会 2 回/年 介護入門研修 2 回/年 外国人介護人材受入セミナー 1 回/年	継続	合同就職説明会 2 回/年 介護入門研修 2 回/年 外国人介護人材受入セミナー 1 回/年
外国人職員向け日本語教室	1 回/年	継続	1 回/年
学生向け人材確保の取組み検討	－	実施	実施
研修費用助成	100 人/年 研修費用半額助成	10 人/年増 研修費用全額助成	110 人/年 研修費用全額助成
中堅職員向けキャリアアップ研修の開催	－	1 回/年	1 回/年

介護ロボットの普及促進		介護保険管理課	
介護職員の負担軽減のため、介護ロボットの普及に向けたセミナー等による周知・啓発を行います。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
セミナー等の実施	１回/年	継続	１回/年
介護事業者と開発事業者の新たな連携方法の検討	－	実施	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和３年度末	目標値 令和７年度末
小規模多機能型居宅介護サービス ^{P198} 等の 地域密着型サービスの利用者数	人	945	1,219
介護保険サービス事業所数	か所	3,207	3,351

3-3

障害のある人もない人も、自分らしく生活できる共生社会を創る

【関連する SDGs の目標】



パラアスリート学校訪問

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
地域で生活するようになった障害のある人の数	人	28	33
障害のある人が市民に理解されていると感じる障害者の割合	%	25	30

3-3-1

障害のある方への理解促進と社会参加の促進

施策の展開

- 千葉市では、障害のある人もない人も一緒に活躍できる共生社会の実現に向けて取り組んできたところですが、令和 3 年度（2021 年度）に市民 1 万人を対象に実施したアンケートでは、「市内に障害のある人が暮らしやすい環境があると感じますか」の設問に肯定的な回答が 30.2%、否定的な回答が 30.4%と否定的な回答をした方の割合が多い結果となりました。そのため、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催都市としての経験を活かし、障害のある人への更なる理解促進と社会参加の促進に取り組んでいく必要があります。
- そこで、障害者や障害への理解を促進し、障害者への差別を解消するため、引き続き、市民への周知・啓発に取り組めます。
- また、障害者が自立して暮らすためだけでなく、達成感や生きがいを得られるよう、企業と障害者のマッチングによる雇用促進を図るとともに、農業体験を通じた農福連携^{P203}の推進など、多様な就業機会の確保に取り組めます。
- さらに、障害者を支える家族の悩みや不安を解消するため、家族介護者向けの支援を充実します。

計画事業

障害者への理解促進		障害者自立支援課	
障害の有無に関わらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う共生社会を実現するため、講演会を開催し障害・障害者に対する理解を促進するとともに、障害者差別の解消に努めます。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
市民向け講演会の開催	１回/年	継続	１回/年

障害者雇用の促進		障害者自立支援課	
障害者の雇用を促進するため、実習事業の拡充や企業に対する研修会等の開催により、企業と障害者のマッチングを促進します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
実習事業によるマッチング促進	実習 10 件/年	実習 10 件/年増	実習 20 件/年
市内企業向け研修会等の開催	—	検討・実施	検討・実施

農福連携の推進		障害者自立支援課	
障害者の就労や生きがいがいづくりの場を生み出すため、農家等と障害福祉サービス事業所等のマッチングに係る支援を行います。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
農家等に対する研修等の実施	—	3 回	3 回
障害福祉サービス事業所等に対する研修等の実施	実施	継続	実施
農福連携 ^{P203} に係る先進事例の調査・研究	—	実施	実施

障害者ケアラー ^{P195} 等への支援		障害者自立支援課 精神保健福祉課 こころの健康センター	
在宅で障害者を介護する家族が、日常の介護での悩みや不安などを解消するため、障害者やその家族を支える民間団体を支援します。また、精神障害者の家族が、病気について理解するとともに、適切な対応について学ぶことで負担を軽減するため、講演会や研修会などを実施します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
身体障害者団体への助成	７件/年	継続	７件/年
保護者団体への助成	６件/年	継続	６件/年
精神障害者家族会への助成	４件/年	継続	４件/年
精神障害者への接し方に関する 家族向け講演会・学習会の実施	－	講演会等２回/年	講演会等２回/年
精神障害者家族向け研修会 の実施	社会技能訓練６回/年	継続	社会技能訓練６回/年

パラスポーツの推進【再掲】			スポーツ振興課	
東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシー ^{P207} として、パラスポーツ ^{P204} を推進するため、パラスポーツを身近で体験・体感できる機会を創出するとともに、障害者が気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりを進めます。				
取組項目		令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
パラスポーツの体系的な推進		全体像構築	全体像に基づく体系的な推進	全体像に基づく体系的な推進
普及・啓発	パラアスリート 学校訪問	28 校/年	5 校/年増	33 校/年
	体験会	7 回/年	継続	7 回/年
	パラスポーツ 貸出用具の整備	4 種	3 種増	7 種
障害者の スポーツ活動 参加促進	教室開催	86 回/年	20 回/年増	106 回/年
	パラスポーツ サポーター ^{P204} 制度の創設	—	創設	創設

パラスポーツ交流を通じた地域活性化【再掲】			稲毛区地域づくり支援課
共生社会の形成と地域の活性化を推進するため、障害のある方もない方も、子どもから高齢者まで共に楽しみ交流できる障害者スポーツイベントを実施します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
ボッチャ ^{P205} 体験会	３回/年	継続	３回/年
稲毛区内３大学連携 ボッチャカップ	１回/年	継続	１回/年
ボッチャ用具の貸出し	実施	継続	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
新たに就労した障害のある人の数	人	570	720
農福連携 ^{P203} のマッチング数	件	0	3

施策の展開

- 千葉市では、障害のある人もない人も一緒に活動できる共生社会の実現を目指し、一人ひとりに寄り添う相談体制の整備など、社会全体で障害のある人を支える体制の構築を進めてきたところですが、障害のある人やその家族の高齢化に伴い、親なき後の障害のある人の支援など、更なる相談支援体制の強化や関係機関同士の一層の連携強化が必要です。
- そこで、多様化する相談内容に的確に対応するため、障害者基幹相談支援センターの利便性向上を図り、障害のある人を地域全体で支える地域づくりに取り組みます。
- また、医療的ケアが必要な方など、重度の障害がある人も住み慣れた地域で継続して生活できるよう、重度障害者グループホーム等の整備費用を助成します。
- さらに、精神疾患を患う方が社会から孤立せず、地域の一員として安心して暮らせるよう、シンポジウム等を開催し、精神疾患に関する地域住民の理解促進を図ります。

計画事業

障害者基幹相談支援センターの充実

障害福祉サービス課

様々な障害種別や増大するニーズに対応できる相談支援を実施するため、障害者基幹相談支援センターの運営に係る費用を助成します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
運営助成	2か所/年	2か所/年増	4か所/年

重度障害者グループホーム等の整備促進

障害福祉サービス課

重度障害者が住み慣れた地域で継続して生活できるようにするため、グループホーム等の整備に助成します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
重度障害者グループホームの整備	定員 72人	36人増	定員 108人
重度障害者日中活動事業所の整備	定員 280人	60人増	定員 340人

精神障害者と住民がともに安心して暮らせる環境の整備

精神保健福祉課

精神障害者が地域の一員として安心して暮らすため、精神科医による講演や精神障害者による体験談、地域住民と各関係機関とのシンポジウムを引き続き開催します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
地域住民への広報・啓発活動	4回/年	2回/年増	6回/年

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
重度障害者受入障害福祉サービス事業所定員数	人	60	108

施策の展開

- 障害のある子どもの支援にあたっては、本人の最善の利益を考慮しながら、健やかな育成を支援するため、障害のある子どものライフステージに沿って、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育、就労支援等の関係機関が連携を図り、一人ひとりに合った切れ目のない支援を提供する体制を構築することが必要です。また、障害の中には、その特性上、周囲に気付かれにくいものもあるため、適切な時期に適切な療育を受けられるよう、障害の早期発見・早期療育体制を充実することも求められています。
- そこで、発達障害の早期発見と早期支援を図るため、総合相談窓口を開設し、子どもの成長に合わせた切れ目のない、一貫した支援体制を構築します。
- また、障害のある子どもを支える家族の悩みや不安を解消するため、家族介護者向けの支援を充実します。

計画事業

発達障害への支援の推進【新規】

障害者自立支援課、障害福祉サービス課

発達障害の早期発見・早期支援を図るため、療育体制と相談支援の充実を図ります。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
総合相談窓口の開設	—	開設	開設

医療的ケアが必要な子どもの受入体制の整備【再掲】

幼保運営課、幼保指導課

医療的ケアが必要な子どもの保育ニーズに対応するため、看護師の配置を拡充し、受け入れ体制を強化します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
看護師の拡充	6人	1人増	7人

特別支援教育の充実【再掲】

養護教育センター、教育支援課

障害のある児童生徒に対し幅広い支援を行うため、特別支援教育に係る各専門職の配置を拡充します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
特別支援教育指導員の拡充	44名	3名増	47名
学校訪問相談員の拡充	1,484時間	676時間増	2,160時間
心理判定員の配置時間拡充	54時間/週	9時間/週増	63時間/週
特別支援教育エリアコーディネーターの拡充	2区配置	4区増	全6区配置

介護者支援の強化【再掲】

高齢福祉課

家族介護者の身体的・精神的負担を軽減するため、介護に関する基礎的知識を学習する研修を開催するとともに、オンラインを活用した訪問レッスンや介護の悩みに関する相談受付を実施します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
家族介護者向け研修	7回/年	1回/年増	8回/年
訪問レッスン	65回/年	5回/年増	70回/年
家族介護者向け相談窓口	実施	継続	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
療育相談所における相談件数	件	625	625

施策の展開

- 千葉市の自殺者は令和元年（2019年）以降減少していますが、依然として150人の方が自ら命を絶っています（令和3年（2021年））。自殺に至る原因は様々な問題が複雑に関係しているといわれているため、悩みや不安を持つ方が安心して生きられるよう、専門性の高い相談支援体制を充実していく必要があります。
- そこで、相談体制の充実を図ることで、悩みを持つ方が相談するきっかけを増やすとともに、窓口職員の資質向上を図ることにより、機会を捉えて相談・支援する体制を強化します。
- また、平成30年度（2018年度）に内閣府が実施した調査では、ひきこもり状態になってから7年以上経過した方が約5割を占め、長期に及んでいる傾向が認められます。
- ひきこもりにより悩む本人や家族を支援するため、引き続き、出張相談等とともに家庭訪問や同行支援など、伴走型の支援を行います。

計画事業

自殺対策の推進		精神保健福祉課	
自殺に追い込まれようとしている人が、安心して生きていけるようにするため、自殺の防止等に関する啓発や相談体制の充実・強化を図ります。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
各種相談体制の充実 （電話・SNS ^{P209} など）	実施	継続	実施
庁内向け研修（自殺対策相談 窓口会議）の実施	—	実施	実施

ひきこもり相談支援体制の拡充		精神保健福祉課	
ひきこもり本人の社会参加及び自立を促進し、本人及び家族の福祉の増進を図るため、相談に応じた適切な助言や、家庭訪問及び同行支援等の継続的な伴走型支援を行います。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
家庭訪問、同行支援、出張相談	実施	継続	実施
出張個別相談会（モデル実施）	実施	継続	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
ゲートキーパー ^{P195} 養成者数	人	22	118
ひきこもり地域支援センター等の相談機関に相談している世帯の割合	%	18.1	40.0

3-4

住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会をつくる

【関連する SDGs の目標】



朗読活動ボランティア

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
地域福祉活動に参加したことがある人の割合	%	29.1	40.0

3-4-1

ともに支え合い、活力ある地域づくりの推進

施策の展開

- 近年、少子高齢化・核家族化の進行、価値観の多様化、共働き世帯・働く高齢者の増加などにより、地縁・血縁で支え合う機能が低下し、人と人とのつながりの希薄化が進んでいるとされています。その一方で、個々が抱える生活課題は複雑化・多様化し、複合的な課題を抱える世帯が顕在化、増加していることから、市民が世代や分野を超えてつながり、支え合う地域共生社会を構築することが必要になっています。
- そこで、地域を支える人材や団体などとの連携を一層強化し、地域が主体となって課題を解決する力を高めるため、コミュニティソーシャルワーク機能を強化します。

計画事業

コミュニティソーシャルワーク機能の強化		地域福祉課	
地域で様々な困りごとを抱える方やその家族を支援するとともに、地域が主体となって課題を解決する力を高めるため、千葉市社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカー ^{P196} の資質向上を図ります。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
要支援者に対する個別支援及び地域課題解決に向けた地域支援の実施	実施	継続	実施
コミュニティソーシャルワーカーの養成	研修会の実施	継続	研修会の実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
社会福祉協議会ボランティア登録者数	人	6,144	7,024
地域活動・ボランティア活動率 (ちばし地域づくり大学校)	%	71.0	80.0

施策の展開

- 8050 問題^{P207}やダブルケア^{P200}、ヤングケアラー^{P206}など、地域住民の抱える生活課題は複雑化・複合化しています。そのような中においても誰一人取り残さない社会を実現するためには、属性や世代を問わず、あらゆる相談を受け止め、適切な支援につなげる体制を構築する必要があります。
- そのため、新たな相談窓口を設置するとともに、家庭訪問や同行支援のほか、要支援者を社会とつなげる支援などを行います。
- また、生活に困窮している人が生活を立て直す支援をするため、SNS^{P209}による相談受付を行うなど、自立相談支援体制を強化します。

計画事業

重層的・包括的支援体制の構築【新規】

地域福祉課

置かれた状況や年齢を問わず、各種相談を包括的に受け止め、適切な支援につなげるため、ひとりぼっちにしない、断らない相談・支援体制を構築します。

取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
新たな相談窓口の設置	—	設置	設置
家庭訪問及び同行支援	—	実施	実施
要支援者の社会参加支援	—	実施	実施

自立相談支援体制の強化

保護課

生活困窮者からの相談に対する包括的な相談支援体制を構築するため、新たに SNS を活用し、相談しやすいさの向上を図ります。

取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
SNS を活用した相談体制の充実	—	実施	実施

生活保護受給世帯等に対する学習・生活支援【再掲】

保護課

家庭環境によって学びが左右されない環境を整えるため、生活保護受給世帯等の子どもに対する学習及び生活支援を拡充します。

取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
生活保護受給世帯等の学力向上等支援	中学生 2・3 年生対象	中学生 1 年生への学習意欲の喚起	中学生全学年への支援強化

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
生活自立・仕事相談センター相談件数	件	37.1	28.4
新たな相談窓口相談件数	件	—	600